



第 1 号 1996年6月26日 <支部・協会会員会誌> 発行/社団法人 日本技術士会東北支部・東北技術士協会

も く じ

| | |
|-----------------------------------|----|
| ◇創刊に当たって | 2 |
| ◇東北支部の歩み | 3 |
| ◇東北技術士協会の健全な活動を目指して | 5 |
| ◇(社)日本技術士会東北支部・東北技術士協会第24回定時総会 | 7 |
| ◇(社)日本技術士会東北支部・東北技術士協会事業等 | 7 |
| 平成7年度事業報告 平成7年度決算報告 平成8年度事業計画 | |
| 平成8年度収支予算 | |
| ◇本部・支部・各県協会だより | 12 |
| ◇お知らせ | 14 |
| 技術士受験日程 受験支援について インターネット「技術士受験案内」 | |
| ◇ハイテク・トレンド No.1 | 17 |
| ◇趣味も仕事広場 | 17 |
| ◇名誉顧問(10名)名簿 | 18 |
| ◇第23回全国大会への誘い | 19 |
| あとがき | 20 |
| 編集係より | 20 |

社団法人 日本技術士会 東北支部
東北技術士協会



◇ 創刊に当たって

(社) 日本技術士会東北支部長
東北技術士協会長
杉 江 政 直

一言ご挨拶申し上げます。

グローバル東北をめざし発展するためには、地域から発信できる技術の蓄積と、それを可能にする技術人材の育成が肝要であることは、機会あるごとに述べられて来ました。

ご承知のように東北技術士協会は、昭和46年創立以来、一貫して(社)日本技術士会に協力し、技術士国家試験の受験研修業務その他の事業を行い、同時に地域内の技術士の交流によって相互の技術レベルの向上と、その資格取得に係わる啓蒙活動を、東北六県の各技術士協会とともにこなして参りました。しかしながら、東北の技術士資格保有者は他地域に比べて少ない現状です。

一方、近年官公庁において公募プロポーザル方式など新しい契約制度が導入されて、主要技術部門における業務受注者の格付けに技術士資格が必須のものとなり、その高度な応用能力のある技術士が産業界その他に広く求められています。また、地方の時代を迎えて東北の技術士集団は変革を遂げながら、その諸活動は更に活性化しなければなりません。

このため、内外への私たちの広報が果たす役割も極めて重要になりますことは論を待ちません。

そこで先ず、広報活動の一端として、定期刊行誌を発行することといたしました。その内容は、第二次および第一次技術士試験の丁寧な受験情報とその研修案内をメインに、技術士会本部の動向、必要な人事動静、支部・協会の主要行事とその効果、技術開発研究の経過と成果、PL法業務や地域会員の主な活動状況をお知らせするほかに、随時、会員外の諸先生の寄稿、更には提言、エッセイ、ハイテクノロジー・トレンドまたは「趣味も仕事広場」を設けて幅広く皆様の要望に応え、ご愛読いただけるよう、関係者一同意を注ぐ所存であります。

また年代を問わず、会員あるいは会員外の方々のご意見発表や情報交換の場にご活用いただきたく、ご声援をお願いいたします。

関係各位および支部・協会会員の皆様が共有する定期刊行誌としてご愛読下さいますとともに発刊の趣旨をご理解賜り、自由にご投稿ご意見をお寄せ下さって内容の充実にご協力をお願い申し上げます。

私たちの会誌刊行は、他支部に遅れましたが、冒頭の創刊のころごしを再確認し、激動の時代を意識しながら、行く手の明るい情報誌として、脈動する新生の産声と成長する魂が宿っていると、先ずもってお伝えしたいと存じます。

末筆ながら、読者各位の一層のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

◇ 東北支部のあゆみ (創刊号のため掲載)

1. 設 立

- ・昭和44年 1月25日 日本技術士会支部設立発起人懇談会
- ・昭和44年 6月 宮城県技術士協会設立発足
- ・昭和45年 2月 7日 名称を「宮城県技術士協会」と制定
- ・昭和46年 1月30日 東北技術士協会と改称し、組織を拡大
- ・昭和48年 5月24日 日本技術士会第15回定時総会で支部設立を議決
- ・昭和48年 5月30日 日本技術士会東北支部設立
- ・昭和48年10月15日 日本技術士会東北支部発会式

2. 歴代支部長・協会長および本部理事

| | 支部長兼協会長 | | 本部理事 |
|-------------|---------|---------------|-----------|
| 昭和44.6～54.6 | 宮 本 保 | 昭和50.5～昭和54.5 | 宮 本 保 |
| 昭和54.6～現 在 | 杉 江 政 直 | 昭和54.5～昭和58.5 | 柴 田 安 恵 |
| | | 昭和58.5～昭和62.5 | 杉 江 政 直 |
| | | 昭和60.5～平成 1.5 | 根 本 清 |
| | | 昭和62.5～平成 3.5 | 長 谷 弘 太 郎 |
| | | 平成 3.5～平成 7.5 | 吉 川 謙 造 |
| | | 平成 7.5～現 在 | 河 野 道 信 |

3. 役 員 現 在

(東北支部)

顧 問：宮本 保・三澤寅和鹿・長谷弘太郎

支 部 長：杉江政直

副支部長：四戸立男・根本 清・河野道信・吉川謙造・北松治男

幹 事：芳賀 宏・平野節夫・会津正人・土方恕哉・若山萬壽夫・玉木 登・
本田忠明・三上禮三郎・太田 規・四戸立男・土生胤平・大堀 浩

会計監査：扇 萬吉・安藤喜平治

(東北技術士協会)

顧 問：宮本 保・三澤寅和鹿・長谷弘太郎、

会 長：杉江政直

副 会 長：佐藤健一・四戸立男

理 事：佐藤 恵・相沢千明・今井宏信・佐川孝記・守屋資郎・高橋健二・
川端輝男・佐藤健一・佐々木公典・荒田昌三・鈴木多賀・梅津誠司

会計監査：扇 萬吉・安藤喜平治

4. 会員数

| | 青森 | 岩手 | 秋田 | 宮城 | 山形 | 福島 | 計 |
|---------------------------|-----|-----|------------|--------------|-----|------------|--------------|
| 創設時 | | | | | | | 40名 |
| '96.3.1.現在 ()2部門以上合格者 | 33名 | 70名 | 44名 (1) | 484名 (12) | 53名 | 81名 (2) | 765名 (15) |

5. 活動内容

- (1) 支部総会 年1回開催
- (2) 技術士受験講習会
毎年、仙台市において実施
- (3) 技術開発研究会
昭和61年7月設立発足し、以降各種テーマについて開発研究が行われ成果を公表、産業界に提供している。
現在2カ月に1回定期会合を開き、即時的な問題を中心に取り組んでいる。
- (4) 見学会
年1～2回実施
- (5) PL法関係業務
平成7年10月以降、月1件の割合で依頼があり、専門技術士が指導解決に当たっている。

6. 技術士全国大会

- (1) 第10回技術士全国大会
昭和59年9月3・4日
仙台市 東急ホテル
運営委員長 杉江政直
- (2) 第19回技術士全国大会
平成4年10月21日
ホテルメトロポリタン仙台、参加者 325名
大会委員長 杉江政直、実行委員長 吉川謙造

7. 技術士試験

- (1) 技術士第二次試験 昭和49年に仙台市が試験会場となり、以降毎年実施
- (2) 技術士第一次試験 平成元年に仙台市が試験会場となり、以降毎年実施

8. 本部関係行事

- (1) 第11回地方公共団体職員と技術士との合同セミナー
平成3年度：平成3年11月1日 仙台市ホテル白萩
テーマ：21世紀へ向けての地域開発と技術開発の展望
(東北6県合同で実施)

- (2) 第13回地方公共団体職員と技術士との合同セミナー
平成5年度：平成6年5月20日 ホテルリッチ盛岡
テーマ：快適な生活環境の創出と技術者の役割
——自然環境の保全と景観の創出のために——
- (3) 第15回地方公共団体職員と技術士との合同セミナー
平成7年度：平成8年5月17日 仙台市パレス宮城野
テーマ：「人と環境の共生」(パネルディスカッション)
(宮城県環境アセスメント協会との共催)

9. 今後の支部・協会活動の柱

(1) 会員の増加

受験者の拡大、技術士会への勧誘による会員の確保、社会的地位の向上に努める。

(2) 技術士のPR

官公庁・地方公共団体・関係団体に対して、技術士のPRを継続する。

◇ 東北技術士協会の健全な活動を目指して

1. はじめに

昨年来、正副支部長会の主議題として、支部および協会活動の活性化の必要が論じられ、ようやく実現可能なアクションプログラムを成案した。平成7年12月の各県代表者会議、本年2月の六県代表幹事会議を経て一部準備を始めている。以下にご紹介して、会員のご理解を求めたい。

2. 技術士の役割の変遷

技術士資格は、かつては科学の専門分野に精通した権威者に与えられる個人に属する資格とみられていた。最近建設行政において受注条件とされるに及んで、企業の技術力の指標として公に評価される時代に変わりつつある。

建設部門では建設格付け点数制において技術士に高い評価が与えられると共に、専門分野を構成する要素技術ごとの資格も独立して求められる結果、企業内にさらに多数の専門技術士を揃える事が必要となってきている。昨年の改正建設業法施行後の行政指導により、主任技術士のほかに照査技術士も必要という事になり、建設部門の技術士数は全く不足な状況である。また国際化のためにも一層の技術士の数と、資質の向上が必要と指摘されている。

21世紀の発展が期待される東北地方においては、今後の地域開発のために有効な技術蓄積を計る必要がある。このため、東北インテリジェントコスモス、北東銀河プランや東北ベンチャーランド等の産学官を挙げての努力が続けられており、その成否は、国土政策に大いに影響を与えることと考えられる。

東北の技術蓄積を技術士の切り口で見ると、東北地域の人口当たりの技術士数は、全国平均の半分に満たない現状であり、東北での技術は全く低いと認めざるを得ない。二重の意味で地域の資格者を増やすことが渴望されている。

3. 東北技術士協会の目標

技術士が地域に更に役立つためには、個人的活動に止まらず、社会貢献を強く意識した集団活動への参加を呼びかける事が重要である。

そして、具体的に東北のために何をなすべきかを考えると、技術士制度の支援を本来業務としている当協会としては、技術士数の増加と質の向上をサポートする事業の充実にこそ最大の力を注ぐべきであろう。このような認識に立って、以下の行動計画を構想した。

4. 協会活動活性化行動計画

- (1) 名誉顧問の委嘱 当協会は、大多数が実務技術者で構成されている。このため、東北の学識経験者等に名誉顧問を委嘱して、協会活動に幅広い社会的見地からのアドバイスを随時いただくことも重要と考え、既に産学官にわたる10名の方々にお願いをしている。
- (2) 会員の確保 協会活動の活性化を前提として、協会への参加を呼び掛けていく。
- (3) 会費の増額 会員には、日本技術士会東北支部活動を支援する協会活動の意義と、自助努力について理解を求め、多年3千円で据え置いてきていた協会年会費を、6千円にしたい。
- (4) 通信教育セミナーの拡張 協会ではこれまでも百人程度のセミナー事業をボランティアで実施してきたが、これを整備し労働省の通信教育事業認定取得に全力を挙げ、東北地域で唯一の技術士試験支援事業を拡大していく。当面の協会活動の力点をこれに絞って実現を期したい。準備に相当の手間と費用を要するが、将来は収支事業として期待できると考えている。

- (5) 賛助会員の募集 協会活動に賛同する企業から活動資金の確保を目的として賛助会員を募集する。おおよそ年間5百万円の会費を確保する目標で、すでに募集活動を始めている。
- (6) 会誌の発行 会誌を刊行し、情報伝達に資する。
- (7) 技術士会支部と技術士協会の経理の分離 支部は国費による国家試験業務及び支部交付金による支部活動を行う。他方、協会は支部活動を会費収入と収益事業により支援することで、両者の経理の明確化をはかるべく検討していく。

5. 協会運営の健全化

以上に述べた施策により、現在の事務諸経費等の不足費用は、将来、会費収入の増加とセミナー事業収入で補い、収支バランスを得られる見込みである。

協会がこれまで20年間にわたって、有志のボランティアにより日本技術士会東北支部を死守してきたことは、東北地域への制度の普及上特筆さるべき事で、杉江会長はこれによって科学技術庁長官賞を受けられた。これを機に、新しい時代に向けて協会の事業活動を活性化させ意欲的に発展させていくべきであると思料するものである。

これから21世紀に向かって、協会の存在価値は高まっていく。これに合わせて、協会収支を早期に健全化して、透明度の高い民主的で活力のある協会運営を行っていくものとし、会員一同の絶大なるご協力を期待している。

参考事項

東北の技術士数 ('96. 3. 1) 765名、協会員 765名 (内支部会員117名)

平成7年度 受験者 1,328名、合格者 98名



◇ (社)日本技術士会東北支部・東北技術士協会第24回定時総会

(社)日本技術士会東北支部・東北技術士協会第24回定時総会は下記により開催。

1. 日時 平成8年6月26日 15:10～16:00

2. 場所 ホテル白萩

3. 次第

司会：川端輝男

開会のことば 副支部長・本部理事 河野道信

あいさつ 支部長 杉江政直

議事

(1) 平成7年度事業ならびに会計報告

(2) 平成8年度事業計画ならびに予算案審議

(3) 規約ならびに会則一部変更

(4) その他

科学技術庁長官賞表彰のお祝い、杉江政直支部長受賞

その他

開会のことば 副支部長

四戸立男

◇ (社)日本技術士会東北支部・東北技術士協会事業等

1. 平成7年度事業報告

(1) 支部行事

① 技術士第二次試験関係

・受験願書の交付と手続き指導：平成7年2月中旬～4月初旬

・申込受付：平成7年3月27日(月)～4月7日(金)

・合格者：98名(6年度59名) [仙台試験場申込者：1,328名(建設883名, その他445名)]

・試験実施：建設部門；8月23日(水) その他部門；8月24日(木)

仙台試験場；東北工業大学ニッ沢校舎

② 技術士第一次試験関係

・受験願書の交付と手続き指導：平成7年4月中旬～5月下旬

・申込受付：平成7年5月10日(水)～5月19日(金)

合格者：24名(6年度27名) [仙台試験場申込者：350名]

試験実施：10月8日(日)，仙台試験場；東北工業大学香澄町校舎

③ 地方公共団体職員と技術士との合同セミナー

・宮城県環境アセスメント協会との共催

・平成8年5月17日(金) 13:30～17:30, パレス宮城野(仙台市)

・テーマ：「人と環境の共生」(パネルディスカッション)

・参加員数109名

- ④ 東北支部正副支部長会議の開催 5回
- ⑤ 研修会の実施 2回
- ・第1回
 - ・日時：平成7年6月29日(木), ・場所：ホテル白萩
 - ・演題：建設工事と活断層 ((株)テクノ長谷 相談役 阿部正宏先生)
 - ・参加：105名
 - ・第2回
 - ・日時：平成8年2月16日(金), ・場所：仙台第二ワシントンホテル
 - ・演題：虫と共に生きる(虫の好む環境と開発)(日本蝶類学会理事・弁護士 朝日純一先生)
 - ・参加：186名
- ⑥ 見学会の実施
- ・日時：平成7年10月18日(水), ・場所：東北電力(株)研究開発センター
仙台市葛岡クリーニングセンター・リサイクルプラザ(平成7年10月創業開始)
 - ・参加：50名
- (2) 協会行事
- ① 技術士第2次試験受験対策セミナーの実施
- ・日時：平成7年5月14日(土)
 - ・場所：仙台商工会議所大会議室
 - ・受講者：134名
- ② 東北技術士協会の財政基盤確立に関する活動
- I 名誉顧問ご就任のお願いパンフレット作成
 - II 同上 賛助会員入会のお願いパンフレット作成
 - III 名誉顧問就任依頼
 - IV 賛助会員入会勧誘
- (3) 支部・協会共通行事
- ① 平成7年度(第23回)定時総会
- ・日時：平成7年6月29日(土)
 - ・場所：ホテル白萩
 - ・出席者：105名
- ② 新年ならびに合格者祝賀会
- ・日時：平成8年2月16日(金)
 - ・場所：仙台第二ワシントンホテル
 - ・出席者：186名
- ③ 平成7年度会員名簿発行(平成8年3月31日現在) 800部
- ④ 各県代表幹事会の開催 2回
- ⑤ 在仙幹事会の開催 1回

2. 平成7年度決算報告(単位:円)

| 収 入 | | | | 支 出 | | | |
|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|------------|--------|
| 費目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 | 費目 | 予算額 | 決算額 | 摘要 |
| 前期からの繰り越し | 695,719 | 695,719 | | 会 議 費 | 250,000 | 287,320 | |
| 支部活動費 | 800,000 | 836,000 | 本部交付金 | 試験場費用 | 350,000 | 325,767 | 一次・二次 |
| 試験事務費 | 800,000 | 920,000 | 本部交付金 | 総会費用 | 800,000 | 909,777 | 105人 |
| 試験場経費 | 100,000 | 100,000 | 本部交付金 | 祝賀会費用 | 1,500,000 | 1,419,285 | 186人 |
| 総会会費 | 750,000 | 840,000 | 7.6.29 | 名簿作成費 | 750,000 | 741,600 | 800部 |
| 祝賀会費 | 1,200,000 | 1,494,000 | 8,2月中旬 | 手引き・参考書購入 | 300,000 | 390,400 | |
| 協会会費 | 900,000 | 1,358,760 | 納入462人 | 受験ヒナ-費用 | 1,600,000 | 2,671,101 | |
| 受験ヒナ-受講料 | 2,000,000 | 3,270,850 | 134人 | 研修会費用 | 200,000 | 643,006 | 講演2・見学 |
| 手引き・参考書販売 | 450,000 | 590,600 | | 事務用品費 | 100,000 | 201,009 | |
| 講習会補助金 | 100,000 | 100,500 | 2回実施 | 備 人 費 | 350,000 | 100,200 | |
| 雑 収 入 | 20,000 | 16,279 | 預金利息他 | 事務所経費 | 200,000 | 185,400 | 部屋代等 |
| 見 学 会 | 0 | 150,000 | 当初計画なし | 通信費・送料 | 550,000 | 628,584 | |
| 合同ヒナ-受講料 | —— | 153,000 | 当初計画なし | 文 書 費 | 80,000 | 69,616 | |
| 合同ヒナ-本部補助 | —— | 300,000 | 当初計画なし | 旅費・交通費 | 250,000 | 251,777 | |
| 合同ヒナ-協賛金 | 0 | 300,000 | 当初計画なし | 雑 費 | 250,000 | 373,182 | |
| | | | | 合同ヒナ-費用 | —— | 790,822 | 当初計画なし |
| | | | | 予 備 費 | 285,719 | | |
| | | | | 次年度繰越金 | | 1,136,862 | |
| 合 計 | 7,815,719 | 1,125,708 | | 合 計 | 7,815,719 | 11,125,708 | |

3. 平成8年度事業計画

(1) 支部行事

① 技術士第二次試験関係

- ・受験願書の交付と手続き指導:平成8年2月中旬～4月初旬
- ・申込受付:平成8年3月25日(月)～4月5日(金)
- 仙台試験場申込者:1,542名(建設1,064名,その他478名)
- 試験実施:仙台試験場;東北工業大学ニッ沢校舎
- 建設部門:8月28日(水) その他部門:8月29日(木)

② 技術士第一次試験関係

- ・受験願書の交付と手続き指導:平成8年4月中旬～5月下旬
- ・申込受付:平成8年5月8日(水)～5月17日(金)
- 仙台試験場申込者:420名
- 試験実施:仙台試験場;東北工業大学香澄町本部校舎
- 建設部門:10月13日(日)

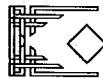

③ 東北支部正副支部長会議の開催

4回

- ④ 研修会（講演会）の実施 2回
- ・第1回
 - ・日時：平成8年6月26日(水)、・場所：ホテル白萩
 - ・演題：技術放談（体験的技術論）——電源一生先輩に学ぶ——
 - ・講師：大島達治（技術士・東北緑化環境保全(株)社長）
 - ・第2回
 - ・日時：平成9年2月中旬
 - ・場所：仙台第二ワシントンホテル
 - ・演題：未定
 - ・講師：未定
- (2) 協会行事
- ① 技術士第2次試験受験対策セミナーの実施
 - ・日時：平成8年4月27日(土)（完了）
 - ・場所：仙台商工会議所大会議室
 - ・受講者：103名
 - ・担当：守屋・会津・土方
 - ② 賛助会員増強活動の推進
- (3) 支部・協会共通行事
- ① 平成8年度（第24回）定時総会
 - ・日時：平成8年6月26日(水)
 - ・場所：ホテル白萩
 - ② 新年ならびに合格者祝賀会
 - ・日時：平成9年2月中旬
 - ・場所：仙台第二ワシントンホテル（予定）
 - ③ 平成8年度会員名簿発行（平成9年3月31日現在） 900部程度
 - ④ 各県代表幹事会の開催 2回
 - ⑤ 在仙幹事会の開催 1回
 - ⑥ 機関紙「技術士東北」の発刊（予定部数1,000）
初年度は年2回程度発行
 - ⑦ 第23回技術士全国大会（横浜8・10・15）への参加呼び掛け
 - ⑧ その他
 - ・会員相互の情報交換
 - ・各県技術士協会との連携強化
 - ・研修・見学会の実施

4. 平成8年度収支予算 (単位:円)

| 費目 | 金額 | 摘要 | 費目 | 金額 | 摘要 |
|-----------|------------|----------|------------|------------|--------|
| 前期からの繰り越し | 1,285,128 | | 会議費 | 350,000 | |
| 支部活動費 | 850,000 | 本部交付金 | 試験場費用 | 350,000 | 一次・二次 |
| 試験事務費 | 920,000 | 本部交付金 | 総会費用 | 950,000 | |
| 試験場経費 | 100,000 | 本部交付金 | 祝賀会費用 | 1,600,000 | |
| 総会会費 | 850,000 | H.8.6.26 | 名簿作成費 | 800,000 | |
| 祝賀会費 | 1,600,000 | H9.2.中旬 | 手引き・参考書購入 | 400,000 | |
| 協会会費 | 1,350,000 | @6,000 | 受験セミナー費用 | 2,000,000 | |
| 受験セミナー受講料 | 2,271,000 | 受講者103名 | 研修会費用 | 600,000 | 講演2・見学 |
| 手引き・参考書販売 | 500,000 | | 事務用品費 | 150,000 | |
| 講習会本部補助金 | 100,000 | 2回実施 | 備人費 | 300,000 | |
| 企業賛助金 | 1,000,000 | 本年度計画による | 事務所経費 | 360,000 | 部屋代その他 |
| 雑収入 | 15,000 | 預金利息他 | 通信費・送料 | 600,000 | |
| | | | 文書費 | 100,000 | |
| | | | 旅費・交通費 | 300,000 | |
| | | | 雑費 | 400,000 | |
| | | | 機関紙「技術士東北」 | 1,000,000 | 年2回発行 |
| | | | 予備費 | 581,128 | (運転資金) |
| 合計 | 10,841,128 | | 合計 | 10,841,128 | |


 本部・支部・各県協会だより
 

○杉江政直氏(東北支部長)、科学技術庁長官賞を受賞

平成8年4月17日(水)に杉江政直東北支部長は「東北地方における技術士制度の普及」の科学技術振興功績により「科学技術庁長官賞」を受賞されました。平成8年度東北支部総会に合わせて祝賀行事を行う。

○東北技術士協会の改組

平成8年度総会において会則の改正を行い、名誉顧問および賛助会員の条項を設ける。名誉顧問は10名の方々から事前のご承諾を頂いている。また賛助会員はマニタラ(38)タント・ゼネコン・その他企業70社以上の入会を期待している。

○第15回地方公共団体職員と技術士との合同セミナー

平成8年5月17日(金) 13:30~17:30、パレス宮城野(仙台市)において、主催:東北支部、協賛:宮城県環境アセスメント協会により、宮城県ならびに仙台市のご協力を得て開催され、参加者数109名(公共団体職員31名・技術士会54名・環境アセスメント協会24名)に達しました。

本セミナーでは、環境保全の在り方、環境と開発について、宮城県職員、仙台市の職員、技術士、それぞれの立場から熱心な討議が行われました。また、質疑応答では、各県の技術士から質問が出されるなど意義あるセミナーとなりました。

セミナー終了後、パネラーをお招きし、懇親会が行われました。

プログラム内容は以下の通り。

・開会の辞:東北支部長 杉江政直

・本部挨拶:常務理事 矢嶋 操

・パネルディスカッション:テーマ「人と環境の共生」

コーディネーター:吉川謙造(東北支部副支部長・技術士)

パネラー(話題提供者)

(1)「多自然型河川づくりのとりくみ」:和田一範(宮城県土木部河川課長・技術士)

(2)「環境保全政策の基本方針」:成澤建男(宮城県環境衛生部環境政策課長)

(3)「人と環境の共生(街づくりから思うこと)」:最知一裕(仙台市都市計画課長)

(4)「仙台市の環境行政」:佐藤貢一(仙台市環境計画課長)

(5)「人と環境の共生——現場技術者の視点——」:成ヶ澤憲太郎

(宮城県環境アセスメント協会 会長・アジア航測(株)仙台支店長・技術士)

(6)「現場から見る——人と環境の共生——」大島達治

(東北緑化環境保全(株)社長・技術士)

・閉会の辞:東北支部副支部長 四戸立男



○技術開発研究会ニュース

・平成8年度第1回

日 時 平成8年4月26日(金)

場 所 (株)復建技術コンサルタント

テーマ「トンネル・法面の防災について」

・次回予定

日 時 平成8年7月11日(木) 13:00～15:00

場 所 (株)復建技術コンサルタント

テーマ「建設業における測定技術(センサーを含む)」

○協会・受験研修部ニュース

さる4月27日(土)技術士第2次試験受験セミナーを仙台商工会議所において開催。
内容は後項「おしらせ-2. 受験支援について」をご覧ください。

○PL業務委員会ニュース(4・5月分)

(1) 化学塗料による事故調査および鑑定(終了)

(2) 電気機器による事故調査および鑑定(ほぼ終了)

なお、PL法関連業務に関する報酬配分方法は別途臨時措置によって処理。

○本部行事

創立45周年記念・第23回技術士全国大会を平成8年10月15日(火)横浜にて開催。

技術研究発表会の第3分科会「インターネット」パネルディスカッションに、
パネリストとして東北支部推薦の(有)パーム代表(仙台のプロバイダー)田村正純氏
が、一般企業・市民よりの要望と問題点の視点から参加予定です。

| | | | |
|---|---|---|---|
| お | 知 | ら | せ |
|---|---|---|---|

1. 技術士試験

(1) 技術士第2次試験

願書受付：平成8年3月25日～4月5日(終了)

筆記試験：平成8年8月28日(水)・8月29日(木)のうち一日

試験地：全国主要都市9カ所(東北は仙台市東北工業大学ニッ沢校舎)

受験資格：次の何れか1つに該当する者

- ① 科学技術に関する業務経験が7年を超える者
- ② 技術士補として技術士を補佐した期間が4年を超える者
- ①②とも、学歴、年齢の制限なし

口頭試験：筆記試験合格者のみを対象に11月下旬～12月中旬に実施
(口頭試験は日曜、祭日も実施されます)

試験実施機関：(社)日本技術士会技術士試験センター

〒105 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル

TEL 03-3459-1333 (代)

(2) 技術士第1次試験 (技術士補試験)

願書受付：平成8年5月8日～5月17日 (終了)

筆記試験：平成8年10月13日(日)

試験地：全国主要都市9カ所 (東北は仙台市 宮城県民会館)

受験資格：学歴、年齢の制限はありません (学生も在学中に受験可)

試験科目：

- ① 共通科目：数学、物理学、化学、生物学、地学のうち受験者があらかじめ
選択する2科目

- ② 専門科目：技術士第2次試験と同じ19技術部門

◎共通科目については、4年制大学の自然科学系の卒業生および国家資格
保有者 (公害防止主任技術者、電気主任技術者1級技術検定合格者、測量士
等) は免除されます

試験実施機関：(社)日本技術士会技術士試験センター

〒105 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル

TEL 03-3459-1333 (代)

(3) 問い合わせ先

上記の試験実施機関である(社)日本技術士会技術士試験センター又は

(社)日本技術士会東北支部

〒980 仙台市青葉区上杉1-17-20 セント北四ビル

TEL 022-225-5661

FAX 022-268-4480

2. 受験支援について

次回より連載シリーズで「受験の取り組み方」を掲載する予定ですが、今回は毎年実施し、好評をいただいております「受験セミナー」の紹介をさせていただきます。

この受験セミナーは東北技術士協会指導部で毎年企画・実施しているものです。

に10年以上の実績を有し、多数の合格者を輩出しています。

今年は去る4月27日に行われましたが、概要は以下の通りです。

日 時：平成8年4月27日(土)

場 所：仙台商工会議所大会議室

実 施：東北技術士協会セミナー委員会

参加申込者：116名

当日の講師とセミナー内容：

受験対策の要点と体験発表

(1) 建設部門における筆記・口頭試験の要点

木村成勝 技術士 (建設部門 鋼構造及びコンクリート) H7合格)

(2) 体験発表と受験者へのアドバイス (1)

相沢 巖 技術士 (建設部門 土質及び基礎) H7合格)

(3) 体験発表と受験者へのアドバイス (2)

浅野幸雄 技術士 (建設部門 建設環境) H5合格)

(環境部門 環境測定) H7合格)

(4) 体験発表と受験者へのアドバイス (3)

佐々木甲也 技術士 (農業部門 農業土木) H6合格)

(5) 受験準備から合格まで

会津正人 技術士 (建設部門 土質及び基礎) S45合格)

(建設部門 河川、砂防及び海岸) H1合格)

本セミナーは、受験願書を東北支部から取り寄せられた方には全頁ご案内を差し上げております。

また、セミナー参加者は優先的に主論文の添削を受けることができます。

問い合わせ先：

東北技術士協会

〒980 仙台市青葉区上杉1-17-20 セント北四ビル

(株)東北開発コンサルタント内

TEL 022-225-5661

FAX 022-268-4480

3. インターネット「技術士受験案内」

科学技術庁は、インターネット「技術士受験案内」のホームページを開設しています。

アクセスは、「spa.go.jp」

◆ ハイテク・トレンド No. 1

主な技術分野における新しいハイテク情報を寄稿メンバーが交代して掲載します。
創刊号には、バイオテクノロジーからピックアップ。

環境問題に向かうバイオ

日経バイオテク

'96. 1. 15

環境問題の解決にバイオテクノロジーが貢献する可能性が濃厚。

94年から実験が千葉県で我が国初のバイオ・レメディエーションが始まる。
湾岸戦争時に原油漏出によって汚染された土壌の浄化に微生物を応用する
プロジェクトが石油産業活性化センターと大林組の手で始まった。

生分解性プラスチックは小規模な実用化しか進んでいないがコストさえ克服できれば、用途拡大も進むだろう。米国Monsanto社は食料の次の狙いとしてガソールや生分解性プラスチックなど、再生可能天然資源に基づく新しい工業体系創出を狙っている。石油や石炭などの化石資源から、遺伝子操作によって改良された高性能植物が生み出すデンプンやナタネ油などの再生可能な工業資源を開発しようとしている。長野オリンピックでは、環境保護のためジャガイモデンプンで作ったお皿が使用される可能性が出てきた。

95年2月には地球環境産業技術研究機構が、クリーン/プロダクト研究会を開催、製造業の環境廃棄物削減計画の推進を啓蒙した。国際標準化機構ISOの環境管理・監査システム（ISO1400シリーズ）など、環境廃棄物の発生を工業システム全体を見直して抑止する努力が必要になってきた。

(文責：根本)

趣味も仕事広場

「仕事は趣味」族の相対線上に「趣味も仕事」亜種が住む。

この人種の良い共通性は凝り性で根っから熱いことだろう。

茶目っ気のある人は、インターネットへのプレゼンスを、試しにどうぞ。

<http://www.termnet.com/fundosil/fundosil.html>

このホームページ、マイ・フェイバリット・フンドシに「ダンス根本のラジエター理論」が載っています。

次に、そのページの「ふんどしパワーでソシアルダンスに打ち込む」の行[アンダーラインのフレーズ]を押すと、ダンスを始めたい人への根本アドバイス(上巻)が読めます。

仕事と趣味は人生の縮図!!

さあ、どんな意味があるのかな?

(文責：根本)

◇ 名誉顧問者 (10名) 名簿

(官公庁)

仙台市長 藤井 黎 〒980 仙台市青葉区国分町3-7-1
TEL 022-261-1111

(学校) (アウダ順)

石巻専修大学学長 小倉保己 〒986-80 石巻市南境新水戸1
TEL 0225-22-7711

いわき明星大学学長 〒970 いわき市中央台飯野5-5-1
TEL 0246-29-5111

東北学院大学学長 倉松 功 〒980 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL 022-264-6421

東北工業大学学長 岩崎 俊一 〒982 仙台市太白区八木山香澄町35-1
TEL 022-229-1151

東北福祉大学学長 萩野 浩基 〒981 仙台市青葉区国見1-8-1
TEL 022-233-3111

日本大学工学部長 蓬田 和夫 〒963 郡山市田村町徳定字中河原1
TEL 0249-44-1300

福島工業高等専門学校長 寺門 龍一 〒970 いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-28-4151

宮城工業高等専門学校長 斉藤 正三郎 〒981-12 名取市愛島塩手字野田山48
TEL 022-384-2171

(一般)

(株)ソシエト・エスエ研究機構社長 石田 名香雄 〒989-32 仙台市青葉区南吉成6-6-3
TEL 022-279-8811



第23回技術士全国大会への誘い

〈大会テーマ〉「新たなパラダイム (技術創造の社会づくり)」

参加資格者：日本技術士会会員・準会員・賛助会員及び有資格者

日程◆平成8年10月13日(月) 大会前日

1. 見学会

・コース：初比アビレッジ……シー・クルージング(昼食)……三菱みなとみらい技術館

2. ゴルフコンペ

・コース：横浜カントリー・クラブ

3. 囲碁大会

・横浜プラザホテル (10:00～)

4. 各部会前夜祭

◆平成8年10月14日(火) 大会当日

・会場 横浜ロイヤルパークホテルニッコー (横浜ランドマークタワー)

1. 研究発表会 10:00～13:00

- ・第1分科会 「国際協力のあり方」
- ・第2分科会 「環境・安全と品質のマネジメント」
- ・第3分科会 「インターネット」
- ・第4分科会 「創造・起業・活性化支援」
- ・第5分科会 「21世紀の技術士」
- ・特別分科会 「東京湾横断道路」

2. 大会記念式典 15:00～16:00

- ・記念講演 16:30～18:00
講師：柳原良平氏
演題：世界の港、船さまざま

3. 記念パーティー 18:30～20:30

4. イベント (女性技術士の会による)

・相談コーナー、シティアルカディア、チャリティバザール

5. レディース・コース (ご同伴のご夫人を対象とした見学コース)

・コース：油壺マリンパーク……港の見える丘公園……外人墓地……山下公園 (人形の家・氷川丸・マリンタワー)

◆研修旅行

1. A班 (10月16日(水))

・金沢工業団地……八景島シーパラダイス(水浄化設備)……金沢文庫・称名寺

2. B班 (10月16日(水)～17日(木))

- ・幕張(見学)……鯛の浦(観光船) 誕生寺……天津小湊 (泊)
- ・かずさDNA研究所……TEPCO新エネルギーパーク……フェリー(東京湾横断道路を海上より見学)……川崎……羽田……横浜

3. C班 (10月16日(水)～18日(金))

- ・御殿場……河口湖……甲府……美ヶ原……浅間温泉 (泊)
- ・松本城……冬季オリンピック施設見学……善光寺……別所温泉 (泊)
- ・北陸新幹線工事現場見学……東京

第23回全国大会 実行委員会
TEL 03-3459-1331

詳細は月刊「技術士」7月号を
ご参照ください

あ と が き

平成8年度第2回正副支部長会議（平成8年4月3日(金)）において、恒常的
事業としての機関紙発行が決まり、その場で任命された広報担当が編集を始めた
のですが、何しろ急なことで時間もなかったので拙速を尊び、ようやく創刊号
を纏めることができました。

このため内容ミスは沢山あるものと思います。会の活性化の第一歩という
ことで一生懸命纏めたつもりです。今後は、皆様のご意見に従って充実した
ものにしていきたいと思います。

今後とも皆様の会誌として育てていって頂きますと共に、ご指導を宜しく
お願い申し上げます。多数のご意見をお寄せください。お待ちしております。

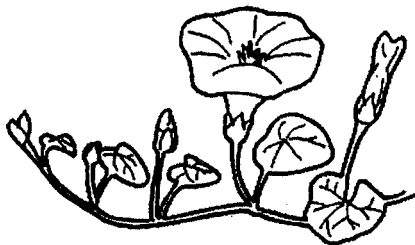
編 集 係 よ り

発 行：本年度 年2回
次年度以降 年4回程度

盛り込み記事：・東北技術士協会の活動

- ・支部の活動
- ・本部活動状況
- ・支部会員の活動状況
- ・会員投稿・技術情報・業務紹介・意見提案等
- ・行事予定の案内・
- ・受験情報等

——投稿歓迎—— 東北支部・東北技術士協会 事務局まで



技術士東北 第 1 号

平成8年6月26日発行

(株)日本技術士会東北支部・東北技術士会事務局

〒980 仙台市青葉区上杉1-17-20 セント北四ビル

(株)東北開発コンサルタント内

TEL 022-225-5661 FAX 022-268-4480

編集責任者：支部・協会 広報部（責任者 渡邊嘉男）

印刷所：(有)椎名プリント TEL 022-222-8808